

## 第5回 九州支部設備女子会 SD Lighting(株)さま工場見学会 報告書



- ◆主催：(一社) 建築設備技術者協会 九州支部 設備女子会
- ◆日時：平成 29 年 9 月 20 日 (水)
- ◆研修名：SD Lighting 株式会社さま 工場見学会
- ◆参加数：12 名
- ◆見学先：SD Lighting(株)さま工場、九州オーエム(株)さま亜鉛メッキ工場、信号電材(株)さま荒尾事業所

### 研修内容



第5回の九州設備女子会は、SD Lighting(株)さまの工場見学会を開催しました。こちらの工場では照明灯具や信号灯の製作にトヨタ生産方式が取り入れられており、いずれの作業も迅速で滞りなく進められていました。また、工場の横には照明灯具が設置されていて、実物の大きさや、明かりの様子を体感することができました。

◁展示されている照明灯具



信号電材(株)さまの荒尾事業所では、主に信号柱が製作されています。信号柱は各都道府県によって仕様が異なるため、緻密な製作・品質管理が行われていました。

◁信号柱の特徴や品質管理方法について説明を受けているところ



△亜鉛メッキ直後の部材の前で説明を受けているところ

◁亜鉛メッキ槽での作業の様子

九州オーエム(株)さまの亜鉛メッキ工場では、メッキ前の部材の洗浄など加工に必要な槽がいくつもあり、安全作業への意識向上と管理が徹底されていました。また、部材にメッキを施していく様子をクレーンの操作室から間近に見ることができましたが、時折飛び散る亜鉛と、熱により発生する炎の迫力に参加者は圧倒されていました。メッキが施されたばかりの部材は非常に強い光沢で覆われているため、普段から目にしている亜鉛メッキとは異なりとても印象的でした。

### 感想

- 展示されていた外灯は、光がやわらかく、意匠的にも素適なものばかりだった。また、信号柱は県によって仕様が異なることを初めて知った。これからは意識して外灯や信号柱などを見てみたいと思う。
- 業務で、“亜鉛メッキ”と仕様書に記載することが多々あるが、実際にどのように加工されているのか今回の見学会で体感できた。危険を伴う作業であることがよく理解でき、貴重な経験になった。

